

平成29年度 事業報告書

公益社団法人 葛城市シルバー人材センター

概要

平成29年度の経常収益における請負・委任による受託事業収益、派遣による労働者派遣事業等受託収益は、ともに昨年度を上回る結果となりました。特に労働者派遣事業においては、就業先の新規開拓や契約継続などに努めた結果、お客様ニーズにしっかりと対応でき、また会員さんの頑張りで厚い信頼を得たことが、就業延人員、契約金額を大幅に伸ばすことにつながりました。

一方、受託事業収益では、自主財源確保のための一つである事務費の増額により、契約金額全体では昨年度を上回ることができましたが、受取配分金では減額となりました。主な理由として、シルバー人材センター事業において不可欠な「適正就業」を実現するために、4つの業務契約を更新しなかったことが挙げられます。

当センターでは、このようにお客様が要望する多様な職域・職種に対応していくなか、また適正就業を進めていくなかで、請負形態ではなじまない仕事が多くなっている現状において、適正就業実現への取り組み、より多くの派遣先確保、労働者派遣事業の推進などに適時に対応していくように努めました。これに関連し、先般、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第39条に基づく業務拡大（シルバー人材センターの「臨時的」・「短期的」・「輕易」という業務範囲限定の要件緩和（県知事が業務拡大に係る業種及び職種を指定した場合、派遣と職業紹介に限り週40時間を上限とする業務を会員に提供できる。））について、奈良県シルバー人材センター協議会が奈良県知事の指定を受けることができました。当センターにおいても、定款変更による就業環境を整備することで、業務拡大に対応したマッチングに努めていきます。

会員数については、前年度に続き約10%程度の会員数が減少しています。会員募集チラシの戸別配布、市広報誌への募集記事掲載、入会希望者への説明・相談、ホームページによる事業周知、退会者のつなぎ止めなどを実施しましたが、年度末の退会抑制、入会者の増加に結びつけることができませんでした。会員はセンターの根幹を成すもので、会員数減少等への対策は必須です。業務拡大指定を新たなセンターの魅力として入会促進の一助とし、会員募集の手法の研究、就業拡大とあわせた就業機会の提供、一人一会員入会活動の推進及び後輩への知識・技能伝承など、会員協力のもと役職員、センターが全体で取り組むべき重要な課題です。

運営経費については、国及び葛城市の補助金を基盤としていますが、各々の財政事情が厳しい現状においても、シルバー人材センター事業に対し最大

限のご理解をいただき補助金の交付をしていただきました。また、会員さんやお客様のご理解とご協力も得て、会員会費及び受託事業事務費の増額ができ、自主財源を確保することができました。

個別の事業実績及び実施状況は次のとおりです。

1. 正会員数の状況 (平成30年3月31日時点)

項目		男性（人）	女性（人）	合計（人）
登録会員数		129	53	182
年齢階層別	64歳以下	9	2	11
	65～69歳	29	11	40
	70～74歳	42	18	60
	75歳以上	49	22	71
平均年齢		72.8歳	73.4歳	73.0歳
年度中の入会*		9	6	15
年度中の退会*		26	12	38
前年度末日会員数		146	59	205

* 入会動機：生きがい・社会参加、時間的余裕、健康維持・増進等

* 退会理由：病気（本人）、加齢、家庭の事情（介護等）等

2. 受託事業及びシルバー派遣事業（労働者派遣事業）の実績

(1) 受託事業

センターが発注者から直接受注し、請負・委任形態により就業する。

表：受託事業実績

項目	実績	前年比
受注件数	1,177件	94.9%
契約金額	97,691,672円	100.4%
配分金	80,606,558円	96.0%
材料費等	9,028,519円	115.1%
事務費 *1	8,056,595円	147.2%
就業延人員	17,547人	95.0%
就業実人員 *2	191人	88.8%
就業率 *2	100.0%	100.0%

*1 事務費：平成29年度から10%（配分金に対する）に統一改定（旧：5～10%）

*2 就業実人員及び就業率：就業実人員には平成29年度内に退会した会員を含む。

就業率計算（就業実人員÷登録会員数）により100%を超えるので便宜上100%と記す。

表：公共・民間の別

項目	公共事業	民間事業
契約金額	53,389,122円	44,302,550円
公民比率(契約金額比)	54.7%	45.3%
受注件数	54件	1,123件

(2) シルバー派遣事業（労働者派遣事業）

請負・委任になじまない仕事は、派遣元事業主の奈良県シルバー人材センター協議会と派遣先との派遣契約に基づき、実施事業所（葛城市事務所）である当センターの会員が派遣労働会員として就業する。

表：シルバー派遣事業実績

項目	実績	前年比
受注件数（派遣先数）	10件	100.0%
派遣料金（契約金額）	12,186,618円	184.1%
賃金	9,549,359円	185.0%
派遣手数料等	2,637,259円	181.1%
労働者派遣事業等受託収益*	936,764円	179.4%
就業延人員	2,738人	133.2%

* 労働者派遣事業等受託収益：派遣先から受け取る派遣料金のうち派遣手数料等を事務分担により奈良県シルバー人材センター協議会と折半したもの。

表：公共・民間の別

項目	公共事業	民間事業
派遣料金（契約金額）	2,026,206円	10,160,412円
公民比率(派遣料金比)	16.6%	83.4%
受注件数（派遣先数）	1件	9件

表：登録派遣会員数

項目	男性	女性	合計	前年比
登録派遣会員数	45人	26人	71人	98.6%

3. シルバー人材センター事業（高齢者就業機会確保事業）の実施状況

(1) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

少子高齢化に伴う労働力減少のなか、現役世代の雇用環境向上のため、シルバー人材センターにおける育児分野、人手不足分野等での高齢者の活躍の場を創出するため、次の事業を実施した。

① 会員の拡大

入会希望者への説明・相談、ホームページによるセンターの活動内容の紹介、葛城市広報誌への会員募集記事掲載及び会員募集リーフレットを作成し、登録会員が少ない地域を中心に戸別に配布した。また、口コミによる入会活動（一人一会員入会活動）を実施するなど会員数の拡大に取り組んだ。また退会者のつなぎ止めも行った。

しかしながら、当センター会員の年齢階層では高齢化が著しく、年度末では昨年度を下回る会員数となった。理由としては、本人病気、加齢、介護等家庭事情の理由が退会者全体の44.7%を占めた。また、その他で就職、他団体への加入では28.9%を占め、適正就業実施の影響のほか、退会した会員は経済的安定を求めていることがうかがえた。

② 就業機会の拡大

会員の技能、年齢、健康状態、現場の安全面、事故リスク、事業の目的等を考慮し、会員と事務局職員により就業先の確保・開拓を行った。また、過去の受注履歴をもとに発注依頼文書を送付することで、既存顧客のつなぎ止めに努めた。

特にシルバー派遣事業（労働者派遣事業）においては、育児支援関連業務の就業を継続することで、女性の社会進出を後押しするとともに、女性を含めた現役世代が安心して働けるよう下支えをすることができた。また、人手不足分野では農家や中小企業等からの派遣契約を得ることができ、地域に密着した派遣をすることができた。

③ 就業に関する相談

④ 教育訓練事業

派遣労働会員を対象とした訓練の実施

月日	内容	参加人数
4月 3日 ～ 3月22日 の 期間中	入職時の訓練 「派遣のしくみ」、「シルバー派遣労働登録会員ハンドブック」、「適正就業ガイドライン」を用いて、派遣就業について説明 場所：當麻事務所 会議室	会員8人 ※新規派遣労働会員として登録した者を対象
2月19日 ～ 2月23日 (4日間)	(1) ビジネスマナー講習 (2) 接遇講習 ・奈良県シルバー人材センター協議会から購入したDVDを視聴することにより、各講習を実施 ・講習に関連する問題解答、答え合わせ及び説明 場所：當麻事務所 会議室	会員25人 ※1年以上の雇用見込のある者を対象

(2) 普及啓発事業

シルバー人材センター事業の趣旨の周知を図り、事業の発展・拡大及び会員の入会促進を図るために普及啓発活動を実施した。

① ボランティア活動

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」として、平成29年11月4日に市内幹線道路周辺にて、会員及び事務局職員の計37名による清掃・除草のボランティア活動を行い、シルバー人材センター事業の普及啓発を行った。

また、この活動は市広報誌「かつらぎ」H29.12月号に掲載された。

② 普及啓発イベントへの参加

奈良県シルバー人材センター協議会主催の普及啓発イベント「第2回シルバークフェスタ in なら」に参加した。県下のシルバー人材センターが一堂に会し、パネル展示や即売会などを通じて各々のセンター事業をアピールした。当日は、ゴルゴ松本氏の講演もあり多数の来場者が来られ、イベントは盛大に催された。

また、この活動は市広報誌「かつらぎ」H30.3月号に掲載された。

③ ホームページの運営

事業の紹介、新入会員の募集、シルバー人材センターの就業形態・仕組みなどを住民や企業に知ってもらうため、わかりやすさ、親しみやすさを基本にホームページを運営している。

また、事業計画・事業報告、予算・決算に関する計算書類等を掲載し情報の公開にも努めた。

(3) 安全・適正就業対策推進事業

センターの会員たる高齢者の安全な就業は事業運営の基本であること、シルバー人材センターは公的な目的に基づいて設立された法人で、法令順守及びシルバー事業の理念に基づく適正な運営が求められていることから、次の事業を実施した。

① 安全就業

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」を平成29年度からの安全就業スローガンとし、事故が起こることなく就業ができるよう研修会への参加や情報提供などを通して安全意識の向上に努めた。

月日	内容	参加人数
7月18日	安全・適正就業委員会開催 ・委員会委員の委嘱 ・活動内容の説明 ・月別活動計画の確認	理事2人 会員2人 事務局2人

7月18日	<p>奈良県シルバー人材センター協議会主催による県内安全就業対策研修会への出席</p> <p><講演></p> <p>～ ヘルメット着用の徹底 ～</p> <p>講師：中央労働災害防止協会近畿安全衛生サービスセンター 専門役・安全管理士</p> <p>※ヘルメットを買替える（耐久期限超過）</p> <p><事例発表></p> <p>・香芝市シルバー人材センター</p> <p>～ 安全就業への取り組みについて ～</p> <p>講師：同センター 職員</p>	副委員長 事務局2人
7月26日	<p>安全・適正就業委員会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生に伴う事故防止のための対策を検討 ・安全就業対策研修会の内容伝達 	委員長 副委員長 委員2人 事務局1人
8月31日	<p>事故発生に伴い、周りの人へ注意喚起を行うための安全啓発物品を購入。</p> <p>4公園、各事務所に相当数を配置する。</p>	委員長 事務局
2月6日	<p>奈良県シルバー人材センター協議会主催による県内安全就業担当者会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の安全・適正就業対策パトロールの状況報告 ・全シ協 安全・適正就業指導員会議の報告 <p><事例発表></p> <p>・枚方市シルバー人材センター</p> <p>～ 草の原点、安全・安心、そして生きがい ～</p> <p>講師：同センター 職員</p>	委員2人 事務局2人
10、12月 1、2月	安全就業啓発、年末年始無災害運動及び健康情報の提供（配分金明細書に同封）	4回
随時	安全就業対策パトロールの実施	事務局 20回

② 適正就業

契約書、就業実態等の自主点検実施、適正就業ガイドラインを用いた役職員、会員及び発注者への適正就業の重要性の周知・理解など、発注者とセンターが協議・協力し改善に向けた取り組みを行った。

月日	内容	参加人数
8月10日	奈良県シルバー人材センター協議会主催による県内適正就業担当者会議への出席 ・全シ協 適正就業担当者会議の報告	事務局2人
9月1日 ～ 3月14日	葛城市児童安全下校指導業務における適正就業に向けた点検・見直し（警備業法関連） ・実施主体の変更 ※平成30年度から、実施主体が葛城市へ移る ・平成30年2月24日 下校指導業務就業会員を対象に実施主体変更にかかる説明会を開催 （就業会員の受け入れ体制など） 於：葛城市役所（新庄・當麻庁舎）会議室	会員32人 理事長 事務局4人 葛城市職員 2人

表：平成29年度における適正就業ガイドラインを用いた研修状況

対象者	人数／件数
役職員（理事、監事）	15
会員（新入会員15人、派遣会員入職時の訓練8人）	23
発注者（企業等）	5

4. 組織関係の一般事業の実施状況

(1) 総会、理事会等の会議の開催

① 総会

平成29年度 定時総会〔平成29年5月26日（金）〕

- 議事
- ・平成28年度事業報告書の件
 - ・平成28年度収支決算報告書及び監事監査報告の件
 - ・理事及び監事の選任の件

② 理事会

平成29年度 第1回通常理事会〔平成29年5月11日（木）〕

- 議事
- ・平成28年度収支補正予算（第3号）の件
 - ・平成28年度事業報告書の件
 - ・平成28年度収支決算報告書及び監事監査報告の件
 - ・平成29年度収支補正予算（第1号）の件
 - ・平成29年度定時総会の招集手続等の件

報告

- ・代表理事の職務執行状況報告

平成29年度 第1回臨時理事会〔平成29年5月26日（金）〕

- 議事
- ・理事長及び副理事長の選定の件

平成29年度 第2回通常理事会〔平成29年10月27日(金)〕

- 議事 ・平成29年度収支補正予算（第2号）の件
- ・入会希望者の承認の件

報告 ・代表理事の職務執行状況報告

平成29年度 第3回通常理事会〔平成30年3月29日(木)〕

- 議事 ・平成29年度収支補正予算（第3号）の件
- ・平成30年度事業計画書の件
- ・平成30年度収支予算書の件
- ・入会希望者の承認の件

報告 ・代表理事の職務執行状況報告

③ 理事会の書面決議

議事 ・入会希望者の承認の件〔平成29年6月1日〕

議事 ・入会希望者の承認の件〔平成29年7月1日〕

議事 ・入会希望者の承認の件〔平成29年8月1日〕

議事 ・入会希望者の承認の件〔平成29年9月1日〕

議事 ・入会希望者の承認の件〔平成29年10月2日〕

④ 定期監査

平成29年度 決算監査〔平成29年5月9日(火)〕

- ・平成28年度事業報告、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査実施
- ・監事監査報告書作成

(2) 事務処理における研修会、説明会及び指導等

奈良県シルバー人材センター協議会等主催による研修会、説明会に出席し、指導を受け事業運営の適正な事務処理に努めた。

・平成29年5月30日

奈良県シルバー人材センター協議会定時総会

・平成29年6月19日

近畿シルバー人材センター連絡協議会定期総会及び管内役員研修会
(シルバー人材センター事業の現状と課題、業務拡大への取り組み)

・平成29年8月25日

奈良県シルバー人材センター協議会県内役職員研修（個人情報保護法の改正について）

・平成29年10月4日、平成30年1月19日

奈良県シルバー人材センター協議会管内事務局長会議（都道府県シルバー連合事務局長会議の伝達事項説明、公益法人制度と法人運営について）

・平成29年10月6日

全国シルバー人材センター事業協会派遣元責任者講習の受講

- 平成29年11月2日
奈良県シルバー人材センター協議会県内シルバー人材センター理事長会議（都道府県シルバー連合会長（理事長）会議の伝達事項説明）
- 平成29年11月20日
奈良県シルバー人材センター協議会県内新総合事業及び福祉・家事援助サービス担当者研修（全シ協新総合事業及び福祉・家事援助サービス担当者会議の伝達事項説明）
- 平成30年1月17日
奈良県シルバー人材センター協議会県内会計経理担当者研修（公益法人定期検査2巡目を迎えて考慮すべき経理事務）
- 平成30年1月25日
全国シルバー人材センター事業協会による集合指導（適正就業ガイドラインに関する取り組みについて発表、意見交換及び指導）
- 平成30年2月9日
奈良県総務部総務課による公益法人研修会（立入検査のよくある指摘事項とその対処法、提出書類のよくある修正事項）
- 平成30年2月15日
奈良県シルバー人材センター協議会事務局職員研修（近シ協管内事務局職員研修会における「シルバー事業拡大いきいきフォーラム」参加報告、会員拡大・就業開拓担当者会議の伝達事項説明、シルバー派遣事業の適正な実施について）